

## 入学式 式辞

- 桜の花も満開を迎え、春の温かさが感じられる本日の良き日に、晴れて入学式を迎えられた大阪市立北稜中学校、第 79 期生、139 名の新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。
- そして、ご来賓の皆様方には、新入生の前途を祝福し、これから始まる中学校生活を応援していただくため、早朝よりご臨席を賜り、誠にありがとうございます。平素より北稜中学校の教育活動の推進に対し、深いご理解とご協力をいただいておりますことに加え、本日のご臨席に際しましても、このような場をお借りして、改めて厚くお礼申し上げます。今後とも、何とぞ変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
- 入学生の皆さん。いよいよ中学校生活が始まりました。中学校の標準服に身を包み、緊張した様子の皆さんを拝見すると、中学校生活への大きな期待や意欲が伝わってきます。新しい環境での生活に胸を弾ませていることでしょう。私たち教職員も、これからの皆さんの活躍を今から楽しみにしています。
- そこで私から、中学校生活をスタートさせるにあたっての心構えを、二つお話しいたします。
- まず一つめは、小学校で身に付けてきたことを大切にしてください、ということです。中学校の学習内容は、小学校の基礎・基本を土台として深めていくものです。将来、皆さんが望む進路へ進んでいくためにも、まずは基礎学力をしっかりと身に付け、さらに高めていくことが何より大切です。私たちも、皆さんの学力の定着と向上に全力を注ぎますので、共に励んでまいりましょう。
- また、小学校の頃から皆さんが大切にしてきた、人としての基本である「挨拶」や「返事」、「後始末」、「身だしなみ」を、引き続きしっかりと継続してください。
- 二つめは、友だちを作るということです。北稜中学校には、校区の二つの小学校から多くの皆さんが入学しています。これから過ごす中学校生活の中で、ぜひ生涯にわたって付き合える友をたくさん作ってください。
- また近年、大阪は多くの外国人を迎え入れ、ますます国際色豊かな町へと発展しています。さらに、今年は、万博がいよいよあと 10 日で開催されることもあり、海外から大変多くの方々が訪れることでしょう。言葉の壁や文化の違いなどの課題はありますが、語学力やコミュニケーション能力を高めることで、国境を越えた友情を育むことも決して難しくはありません。皆さんには、地域や学校での交流を通して、さまざまな人との関わりを大切に、自分の周りにたくさんの良き友人を作っていただきたいと願っております。
- このように、皆さんの中学校生活は、新たな仲間や世界とのつながりを広げる、貴重な時期となります。どうか目の前にある、さまざまな機会を逃さず、一歩ずつ力強く進んでいってください。私たち教職員一同も、皆さんの成長を全力で応援し、ともに歩んでまいります。
- さて、本日の入学式では、新入生の皆さんを歓迎し、また皆さんが安心して中学校生活をスタートできるようにとの願いを込めて、吹奏楽部の生オーケストラとともに 2・3 年生の有志が、北稜中学校の校歌をフルコースで披露してくれます。私自身も、もう四十年以上前のことになりますが、中学校の入学式で先輩方の歌声を聞いたとき、小学校とは違う「大人の声」に圧倒されたことを、今でもはっきりと覚えております。
- 今日の 2・3 年生の歌声を通して、新入生の皆さんにも、「自分もいよいよ中学生として大人に一歩近づいた」「北稜中学校の一員として、この校歌を共に歌っていきたい」という喜びと誇りを感じていただければ幸いです。
- 結びになりますが、本日ご入学された新入生の保護者の皆様に、改めて心よりお祝い申し上げます。大切なお子様をこれからの三年間、私どもが責任をもってお預かりいたします。保護者の皆様、そして地域の皆様にも変わらぬご支援とご協力を賜りながら、お子様の中学校生活が素晴らしいものとなりますよう、教職員一同、全力を尽くすことをお約束申し上げまして、式辞とさせていただきます。（1654 文字）

令和 7 年 4 月 3 日  
大阪市立北稜中学校  
校長 神山 卓也